



久保田幸治議員

◇最近二連の市長発言の真意は？

下水道料金改定については、答弁というよりも自己反省を・

【質問】20年9月議会で「下水道料金は当面このまま続けていきたい」と思っている。と答弁されたが料金改定について水道料金等審議会に諮問する旨の説明をうけ、各地区区長会でも着々と使用料改定に向けて取り組んでいる。信濃毎日新聞には「市民の分別徹底を促すにはゴミステーションのごみ袋の中を抜き打ちで調べるのも手だ。」と市長が述べたとある。このような市長発言について、市民から疑問や不安の声が聞かれる。そこで、最近二連の発言について市長の真意を伺いたい。

【市長】下水道料金改定については、今でもできる事なら上げたくない。しかし、自立5カ年計画で3年ごとに料金を見直すことが決定

しており、今後農集を含め下水道のメンテナンスには膨大な費用が必要になる。本意ではないが、ご理解とご協力を。ゴミの問題については、悪い意味で言った訳ではない。ごみ減量を図るには、指導する前段で分別中身を知る必要がある。言葉に気配りが足りなかった。分別でごみ減量を図るための発言ですのでご理解を。

◇夢を語る政策と環境

【質問】市長は「子どもには夢と希望を、市民には元気を、お年寄りには安心安全を」とを与え、悠久のふるさと飯山を大切に次世代に伝えていきたいと目標を掲げている。是非、先頭に立つて動き出してほしい。今の

ような財政難の中でこそ夢を語り、夢を持つて取り組むことにより、金のかからない政策が生まれてくると思うが、熱く語る人に最近お会いする事が出来ない。市長にその環境づくりの先頭に立つて頑張ってほしいと思うが、考えを伺いたい。

【市長】市長がへぼな政策



望月弘幸議員

◇住宅施策について

【質問】企業誘致と併せて必要である住宅・アパート建設が、需要と供給のバランスが崩れ過剰状態であると思うが現状はどうか。

【部長】今のところバランスは崩れていない。

【質問】飯山市が補助を行っているアパート建設で、大手企業が参入することにより地元企業の関わりが少なく、地元建設業や従業員が潤う経済対策になつていないと思うが。

【部長】地元企業も一部参入している。

【質問】新築アパートの増加と家賃引き下げ施策により入居者の減で経営が苦しくなり、以前建設した事業主に何らかの支援策が必要だと思いませんか。

【部長】以前建設された建築者に対しては、既に補助金を交付しているので、新たな補助は考えていない。

【質問】市営住宅について

を出してみても、市民と協働で行えないような政策をいくら出してみても子どもに夢を与えることも出来ないし、市民に元気を、お年寄りには安心安全を与えることは出来ない。そう言う中で議会の一般質問を重視し、悠久のふるさと懇談会、区長会懇談会で聞かされたものを施策としていく。



水野英夫議員

◇新幹線駅名について

【質問】飯山という地名は、残念ながら多くの日本人にとってはあまり場所が分からない所だと思う。1人でも多くの人に訪れてもらうには、場所がイメージできる名前が是非とも必要に思う。正式な駅名は今年度中には決定すると聞いているが、いつ頃までどのような

な方法で決めるのかお聞きしたい。国民のほとんどが知っている信州という名前、その信州の北のほうにある飯山と言うことで、「北信州いいやま」はどうか。

【答弁】21年度になったら早急に検討を始めた。市民の意見、近隣の意見等を聞きながら間違いの無い選択をしたい。

◇立体駐車場について

【質問】市長は飯山市独自の建設方針のようだが、それでよいのか。独自で建設した場合、近隣の市町村とは料金の差をつけるのか。北信広域議会に積み立ててある基金を特別に安い利子で借りるという話が過去にあったがどうか。各自治体とも新たに用意することは厳しいと思う。逆に今後の広域合併なりの話を進めていく上にもいい引き金になると思うが。

【答弁】利用料は出来る限り安くしたいが、維持管理費もかかるので、無料には出来ない。広域から資金を借りるという話は検討したが、共同運営というのは難しい。今のところ、身の丈



市営住宅新町団地

管理指導の徹底を行い、防火面においても徹底するべきと考えるが今の現状はどうか。

【部長】市営住宅等については管理指導を徹底していく。

◇新幹線について

【質問】広域の駅として、立体駐車場、観光案内所、物産館等建設するが、広域の駅の位置づけは、どのように考え展開していくのか。

【市長】新幹線については他の市町村と連携を取りながら進めていく。

◇景気対策について

【質問】景気対策については、市内で急いで進めていく。

◇企業誘致について

【質問】企業誘致についての市長の決意をお聞きしたい。営業活動をどの様に展開しているのか。

【市長】企業誘致については、全力で取り組んでいる。



小林初子議員

◇ワクチン接種で感染症の予防を

【質問】19年春に発生した青少年の麻疹大流行などを受ける者の免疫強化を目的に、20年4月から5年間に限定し中学1年生と高校3年生全員を対象にワクチンの追加接種が実施されることになった。又流行を抑えるためには95%の接種率が必要と言われているが当市

にあつた計画をし、市独自にと考えている。しかしながら、木島平村からも協力の意思も示されているので慎重に対応したい。

【質問】財源が無くても市民に夢と希望が持てるようなことを提案していく必要がある。職員には新たな提案や考えを出させることが必要に思う。改善案を職員自らが提案し実行に移せるようなシステムを考えてはどうか。市の中でも優秀な人材の集まりである市役所職員の全知能をフルに活用して飯山市を活力ある市にして欲しい。是非役所内の改革をお願いしたい。

◇21年度の予算編成方針について

【答弁】職員はすばらしい。職員の能力を引き出し、市政に反映させていけるように職員と同じ気持ちで取り組んでいきたい。21年度は職員に手を汚し汗をかかせたいと思っている。

の状況はどうか。特に高校3年生は受験を控え大切な時期でもあるので接種率向上に努めていくべきと考えるが。

【部長】中学1年生98.4%、高校3年生87.4%の接種率。さらなる向上に努める。

【質問】子宮頸がんが若い女性に増えている。成人女性には検診が、女兒にはワクチンが大変有効であり、21年度によりやく日本でもワクチンの使用が可能となる見込みと聞いている。当市においても予防の啓発に力を入れるべきではないか。又来年度に向け受診率向上対策は。

【市長】20年度から始めた節目検診を勧めたい。

【部長】飯山赤十字病院で施設検診を計画している。

【質問】肺炎球菌ワクチンは、肺炎の予防と共に医療費削減の視点からも効果が期待される。長野県医師会が発行する「みんなのけんこう」の中でも、高齢者や心臓・肺・腎臓等に病気を持つ方には予防効果が5年程持続するワクチン接種を推奨している。(一生に一回のみ)当市においてもワクチン接種の啓発・推進を行つたらどうか。

【部長】国の情報を待ち前向きに検討する。

◇肝炎対策について

【質問】国では、20年度から肝炎治療の推進を図るためインターフェロン治療の助成を含む肝炎総合対策「肝炎治療7ヶ年計画」を開始。これまで高額な医療費がかかるため治療を断念する方が多くいたが、この計画で慢性肝炎患者ゼロを目指している。市民への周知や相談窓口の充実が必要ではないか。

【部長】保健所とも連携しながら市報・ホームページで啓発していく。

